

日本人と桜 同時代日本漢詩と和歌の比較（高校授業実践報告）

米沢中央高等学校 大原健太

1 はじめに

本校は山形県米沢市にある普通科の私立高校である。1年生の古典の授業のまとめとして、生徒たち自身で主体的に詩歌を読み合わせたいと考えて授業づくりを考えた。なお、授業実践は2020年の2月頃である。全国一斉休校直前の頃であり、当然ながら授業の画像などでは、マスクを着用していない生徒も写っている。

古典の授業は知識を教授する時間になりがちだと感じていた。1年生であるため、その時間が多くなってしまふことはしかたないにしても、基礎的な部分を学習し終えた時期に、伝統的な言語文化を他者との交流の中で学ばせる場をつくりたいと考えた。教材としては平安時代の日本漢詩の中でも、桜を扱ったものを使用した。このように考えたのは古典の授業をしている中で、古文は日本のものだが、漢文は中国のものと考えてしまう生徒が多いと感じていたことによる。和と漢の二つの伝統的な言語文化の柱を意識させるために、なるべく近い時代の日本人が作った漢詩と和歌の比較を通して、詠じる心や情景などを想像させたいと単元の構成を考えた。

【学校・学習者】の状況

本校は普通科だが、総合ビジネスコース、進学コース、特別進学コースの3コースからなる。生徒数は700名ほどであり、学年によって人数差があるが現在は1コース2クラス編成である。主に運動部の生徒が多く、地元の生徒も含め県外からスクールバスを利用して登校してくる。

今回の授業実践は特別進学コースの1年生35名を対象に行った。(男子20名女子15名) 特別進学コースは主に地元の国公立大学や、関東私立大学を希望する生徒が在籍しているが、コース内での学力差があるために、難易度や教材選定に悩むときがしばしばある。

2 単元計画

授業は以下の通り実施した。(5時間目後休校となり、6時間目はオンラインで実施した)

- 1 時間目 漢詩読解の復習 漢和辞典の復習 現代の桜の歌謡曲について考える
- 2 時間目 漢詩の読解の復習② 自分が好きな桜の歌謡曲を発表する
- 3 時間目 漢詩の読解 グループ活動
- 4 時間目 漢詩の読解② グループ活動(漢詩の比較) ※校内研究授業
- 5 時間目 和歌の読解 漢詩との比較(和歌を選んでシナリオストーリーを作る)

6 時間目 シナリオストーリーの読み合わせ・発表（オンライン授業）

使用した教材

- 『新探求国語総合古典編』（桐原書店）
- 『精選漢文』（尚文出版）
- 『日本古典文学大系 古今和歌集』（岩波書店）
- 『日本漢詩集』（小学館）
- 『本朝無題詩全注釈』（新典社）

授業で使用した漢詩とワークシート

① 1・2 時間目 春夕移坐遊花下応製（菅原道真） 資料 1

現代の桜の歌謡曲などを選び意見交換を行った。

また、自分たちが読解をしていく上で、字義や韻字を調べられるように漢和辞典の復習から行った。2 時間目から詩の形式の確認や現代語訳を行った。

春夕移坐遊花下 応製 菅原道真 1 比製 勅命により撰じること	九重 深 処 一 株 花 九重 深き処 一株の花	皆 道 遊 人 映 紫 霞 皆道へらく 遊人し紫霞に映すと	若 不 皇 恩 相 勸 見 若し皇恩相勸見さらませば	每 春 空 混 満 庭 沙 春毎に空しく混けなまし 満庭の沙	日本人と桜（私と桜） 花見上では、桜の花見の文化としてよく知られるように、桜は春の花の代表として日本人に親しまれてきました。去る、桜を詠った詩、歌、舞臺、映画、小説、漫画、アニメ、ゲーム、テレビ番組など、桜を題材にした作品は数多くあります。桜の文化は、日本人の生活に深く根ざっています。桜の文化を、現代の生活と結びつけて考えてみましょう。
------------------------------------	-----------------------------	----------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	--

② 3 時間目 惜桜花（嶋田忠臣） 資料 2

3 時間目では 4 人グループで一人二句の現代語訳を作り、最後につなげることで作品を読解し、題名を予想させた。

争 奈 賂 春 風 争ふ奈か 春風に断ひせん 現代語訳	此 花 嫌 早 落 此の花 早く落つるを嫌ふ 現代語訳	含 応 禁 鳥 籠 含まんときば 応に鳥籠に禁むべし 現代語訳	折 欲 妨 人 鎖 折らんとせば 人を妨ぐる鎖ならんと欲し 現代語訳	凡 樹 見 無 同 凡樹 同じこと無きを見る 現代語訳	国 香 知 有 異 国香 異なるを知り 現代語訳	迎 晨 一 半 紅 晨を迎へて 半紅なり 現代語訳	宿 昔 猶 枯 木 宿昔 猶ほ枯木のてし 現代語訳	題名 嶋田忠臣 詩の形式 韻字 対句
-----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	--	-----------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------

③ 4時間目 長楽寺花下即事（大江佐国）資料3

前時と同様に詩の現代語訳に取り組みさせた後、詩人の思いについて話し合いを発表した。（校内研究授業）

<p>漢詩と自分選んだ動詞と比較する（共通点や相違点はないか）</p>	<p>どんな思いを詠んだ詩か自分でまとめろ</p>	<p>長楽寺花下即事 大江佐国 即事：日暮の景</p> <p>酒伯詩朋幾会同 酒伯 詩朋 幾たびか会を同じくする 現代語訳 酒の友、詩の友とればこの集い を持たてあろうか</p> <p>樹陰露胆興無窮 樹陰の露胆に興鬱まること無し 現代語訳 木陰で露を潤して話せば盛り上がり はおさまることがないものだ</p> <p>且開且落雖非仮 且つ開き、且つ落ち 仮非すと雖も 現代語訳</p> <p>一色一香即是空 一色一香 即ち是れ空なり 現代語訳</p> <p>迎老蹉跎雙鬢雪 老いを迎へて、蹉跎たり 雙鬢の雪 現代語訳</p> <p>見花染着九春風 花を見ては染着す 九春の風 現代語訳</p> <p>俗間桃李縦皆盛 俗間の桃李 縦ひ皆盛りなるとも 現代語訳</p> <p>此地芬芳勝自衆 此の地の芬芳 自らに衆に勝らん 現代語訳</p>	<p>詩の形式… 韻字… 対句…</p>
-------------------------------------	---------------------------	--	------------------------------

授業の様子 資料4（2時間目）



資料5（4時間目）



④ 5・6時間目

和歌を一つ選び、同じ和歌を選んだ者同士でグループを作り読解した。その後、元のグループにもどってすべての和歌の読解をした後で、漢詩との比較を行った。

資料6

<p>漢詩と和歌を通じて感じたこと（共通点や相違点、現代の和歌やわが方の思いなど）</p>	<p>日本人と桜</p> <p>ことしより 春しりそむる。さくら花 ちるといふ事は ならはざるなむ 現代語訳 紀伊文</p> <p>とふれば よはじはおいぬ しかはあれど 花をし見れば もの思いもなし 藤原良房 現代語訳</p> <p>世中に たへてさくらの なかりせば 春の心は のどけからまし 現代語訳 在野繁平</p> <p>よしの山 このしをりの みちかへて まだ見ぬかたの 花をたづねん 現代語訳 西行法師</p> <p>ながむべき 残りの春を かぞふれば 花ともにも 散るなみだかな 現代語訳 俊成法師</p> <p>故郷の 花のさかりは なぎぬれど おちかけらぬ 春の空かな 現代語訳 源経信</p>
---	---

